2017年度第11回OPI国際シンポジウム

──対話型教育における教師と学習者のあり方──

研究発表募集要項

**1.主　 旨:** 本シンポジウムは、日本語学及び日本語教育研究者との学術交流、研究成果の交流を促進させるため、OPIの会話能力測定を中心に、教育学、日本語学、などの様々な領域から日本語教育に関する研究を展開していく。第11回目となる今回は、ACTFLの協力のもと淡江大学主催、文化大学遂広部共催の国際シンポジウムとして、台湾国内のこれからの日本語教育研究の必要に鑑み、テーマを「対話型教育における教師と学習者のあり方」とし、アクティブラーニングなど、新しい教授法と日本語教育の接点を広げることを目指す。

**2.開催時期：**2017年8月4日（金）・5日（土）

**3.発表日時：**2017年8月5日（土）13:00～16:00

**4.発表テーマ：**日本語のプロフィシェンシーに関係する研究（OPI、言語習得、評価研究、指導法・教授法、等）

**5.発表種類：**　研究発表、実践報告、調査報告、教材開発など

**6.発表形態：**　口頭発表、もしくは、ポスター発表

**7.発表時間：**　30分　(発表20分、質疑応答10分) またはポスター発表

**8.発表応募資格：**　特になし　（査読あり）
**9.応募申込締切：**2016年　10月31日（月）(必着)

　 採否の結果は：2016年　11月30日（水）までにメールで連絡いたします。

**10.応募方法：**

　以下の要領で、発表要旨と申込用紙をメールでお送りください。

＊発表要旨：1)作成言語（日中英）でA41枚以内（日中英のタイトル、日中英の名前、所属、本文；フォント：MS MINCHO　文字の大きさ12p；横書き：キーワード：5語以內）。

2)大会経費の公的申請の資料として必要ですので日、中、英の要旨をお願いいたします。非中国語圈からのお申し込みの場合、中国語は翻訳ソフトの訳をそのまま使ってかまいません。

＊申込用紙：添付フォームにより 5年以内の業績一部、所属、連絡方法等の個人資料

＊送り先：2017opi@gmail.com

**11.発表論文提出：**2017年　4月30日（書式は追って連絡いたします）

**12.お問い合わせ：**第11回OPI国際シンポジウム事務局

 池畑裕介 +886921-923-524 2017opi@gmail.com

**13.ホームページ：**<http://www.sce.pccu.edu.tw/demo/opi/#profile01>

2017年度第11回OPI国際シンポジウム

申込用紙（申請單 Application）

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）お名前 |  |
| 所属・職位 |  |
| OPI学会会員 | □ Yes　　　　　　　　　□ No |
| E-mail |  |
| 電話 | (O)　　　　　　　　　　(H)(携帯電話)　　　　　　 |
| 住所（連絡先） |  |
| 経歴 | （一）最高学歴（二）経歴・職歴 |
| 専門分野 |  |
| 過去五年間の研究業績 | （一）著作（二）学会誌・学術誌・紀要などの掲載論文（三）研究報告・学会発表予稿など（四）その他 |
| 発表論文タイトル | 【日本語】：【中国語】【英　語】： |
| 発表形式及び内容 | □ 口頭発表□ ポスター発表　 | □研究発表　□実践報告□調査報告　□教材開発□ その他（　　　） |
| 発表要旨（日中英A4各一枚以内） | 1)日中英のタイトル、日中英の名前と所属、本文2)フォント：英語はTimes New Roman、日本語はMS MINCHO、中国語は標楷體　文字の大きさ12p；横書き：3)キーワード：5語以內 |

（注）申込用紙の枚数は自由。必要な情報をファイルにお書きください。

【発表要旨】日本語見本

OPIの歴史

真田幸村

日本　真田丸大学　講師

本文

（本文、注はページ内に収まる範囲で適宜、要旨の余白等は字数に応じて適宜ご調整ください、500字程度、A4一枚程度）

キーワード：５つ

――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

【発表主旨】中文樣本

OPI的歷史

真田幸村

日本　真田丸大學　講師

（本文、注はページ内に収まる範囲で適宜、要旨の余白等は字数に応じて適宜ご調整ください、500字程度、A4一枚程度）

關鍵詞：５語

――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

A history about OPI

Sanada Yukimura

Assistant Professor, Sanadamaru University, Japan

（本文、注はページ内に収まる範囲で適宜、要旨の余白等は字数に応じて適宜ご調整ください、500字程度、A4一枚程度）

Keyword：5words